



巻頭言

「All for One, One for All」

常務取締役 郷 古 良 則

昨年は、猛暑や大寒波の気象、大事故や事件など、残念ながら大変気になる事柄が多い年でしたが、考えると温暖化を始めとする異常気象は地球システムの事象ですし、大事故や事件なども社会システムの事象であり、今後は人を含めたシステム思考や最適システム構築力が、ますます重要視される時代になってくると考えています。

さて、システムと言えば、当社は、受変電システムや制御システムなどの様々なシステムを提供しています。思い起こすと90余年前の創業当時は計器やスイッチなどの単体機器製造がスタートでした。その後、電力用コンデンサを始めとする電力用各種機器の開発とシステム化を行い、これらで養った技術を電子線やイオンプラズマ関連へと応用展開などを図り、物まね人まねではないユニークなオンリーワンの技術でNO.1を目指してきました。お蔭様で現在は重電分野だけでなく幅広い分野へ製品やシステムを提供できるメーカーになりました。

その過程で重要だったのは、製品やシステムの提供を通じて、お客様から得た信頼はもちろんとし、シーズ面では次の二点だと考えています。一つは各コンポーネントのコア技術の強さであり、もう一つはコンポーネントの能力や特徴を最大限に活かすシステムエンジニアリング力です。

今回ご紹介する各論文にもあるように、当社は、受変電関連の開発に加えてパワーエレクトロニクスやイオンプラズマ関連などのコア技術開発にも注力してきました。それらの幅広いコア技術と総合力を活かすシステムエンジニアリング力のより一層の向上を図り、従来の受変電・制御システムに加えて、新しくかつユニークなシステムを提案できるよう優れたシステムエンジニアの育成を図りつつ日々研鑽していきたいと考えています。

正にラグビーで言われる「All for One, One for All」の言葉の如く、各コア技術（One）とそれらの総和プラスアルファの力を表わすシステム力（All）の調和を取って総合力を高め、当社全体として、さらなる付加価値の高いサービスやソリューションを提供する所存ですので、引き続きお客様のご指導、ご鞭撻、ご支援をよろしくお願い申し上げます。